

膀胱尿管逆流症（前日入院）の手術を受けられる患者さん（入院診療計画書）

患者ID：

性別：

生年月日：

病棟：

病室：

患者氏名：

病名：

膀胱尿管逆流症

症状：

入院日：

経過	手術前日		手術日	
	1900/1/0		1900/1/1	
			手術前	手術後
患者目標	・ お熱がありません ・ 転倒転落しません		・ お熱がありません ・ 転倒転落しません	・ お熱や痛みがありません ・ 手術部を安静に保ちます
治療 ・ 処置			☐ 朝7時に浣腸があります ☐ （ ）時に座薬またはお薬を飲みます	☐ 術後は水分補給の点滴が入ってます ☐ 術後は尿道カテーテルの違和感の軽減のため、オキシブチニンを1日3回飲みます ☐ 痛みがある場合は痛み止めを使用します
活動	病棟内、自由です		座薬またはお薬を飲みましたらベッド上で過ごしてください	・ 手術の後はベッドの上で上向きで寝た状態で過ごしてください ・ 抱っこはできません ・ 足はバスタオルでおくるみをして傷の安静を保ちます
食事	お昼より病院の食事が食べられます		・ 朝からお食事がありません ・ （ ）時のお茶（ ）mlが手術前最後です ・ ミルクまたは母乳を飲んでいる方は、 ミルクまたは母乳を（ ）時頃（ ）mlが 手術前最後です	・ 1時間後飲水（ : ） ・ 2時間後飲水（ : ） ・ その後お食事が食べられます （ 寝たままの状態でお食べ ）
清潔	シャワー浴があります		手術日はシャワー浴や体拭きはありません	
説明 ・ 指導	☐ 病棟内の説明をします ☐ 明日の手術時間のお知らせをします ☐ 手術同意書、麻酔同意書、身体抑制に関する同意書を看護師にお渡しください ☐ 薬剤師による常用薬の確認、お薬の説明があります		☐ 手術後、医師からお話があります	
「栄養管理/ 褥瘡対策」 要判断	☐ 特別な栄養管理の必要性		「手術/検査日 程」要入力	実施有無: 有 日程:
	☐ 褥瘡対策に関する計画の必要性			内容: 膀胱尿管逆流手術
メモ:				

2020/11/27 作成
2024/3/15 改訂

膀胱尿管逆流症（前日入院）の手術を受けられる患者さん（入院診療計画書）

患者ID：

性別：

生年月日：

病棟：

病室：

患者氏名：

病名：

膀胱尿管逆流症

症状：

入院日：

経過	術後 1 ～ 4 日目	術後 5 ～ 6 日目（退院日）
	1900/1/2 ～ 1900/1/5	1900/1/6 ～ 1900/1/7
患者目標	・ お熱がありません ・ 転倒転落しません ・ 手術部を安静に保ちます ・ 傷から血が出たり、腫れたりしていません	・ お熱がありません ・ 転倒転落しません ・ 安心して退院できます
治療・処置	□ 術後は尿道カテーテルの違和感の軽減のためオキシブチニンを1日3回飲みます □ 入院4日目（術後2日目）に尿道カテーテルを抜きます □ 入院5日目（術後3日目）の午前中に点滴を抜き、夜から抗菌薬を内服で1日1回飲みます □ 便秘のときは浣腸をします □ 痛みがある場合は痛み止めを使用します	
活動	・ ベッドの上で上向きで寝た状態で過ごしてもらいます ・ 抱っこはできません ・ 足はバスタオルでおくるみをして傷の安静を保ちます	病棟内、自由です
食事	尿道カテーテルが入っている時は寝たままの状態ですが、尿道カテーテル抜去後は座って食べられます	通常通り食べられます
清潔	・ 体拭きをします ・ 尿道カテーテル抜去後はシャワー可能です	退院当日はシャワー浴はありません
説明・指導		□ 次回外来日をお知らせします □ スタッフとお忘れ物がないか確認をお願いします

主担当医氏名： 印

主担当医以外の担当者：

注) 上記の内容・期間は現時点で考えられるものであり、今後状態の変化に応じて変わることが考えられます。

年 月 日

上記の説明を受けました。

患者・家族サイン： (続柄)